

令和6年春ダイヤ改正等について会社説明を受ける

12月15日、名古屋地本は会社から令和6年3月16日(土)実施の「令和6年春ダイヤ改正」について説明を受けました。今回のダイヤ改正では、①中央線315系への統一による所要時分の短縮、②昼間時間帯での列車体系、列車本数見直し、「しらさぎ」の運転区間変更が説明されました。

①では、列車の最高速度を110Km/hから130Km/hに引き上げることで朝夕の時間帯で名古屋～多治見間において平均1分、名古屋～中津川間で平均3分の所要時間を短縮するというものです。②では中央線の昼間時間帯の快速列車をすべて新守山、神領に停車させ「区間快速」という名称にし、区間快速が運転する時間帯は名古屋～高蔵寺間の普通列車を1時間当たり最大2本削減するというものです。飯田線では10時から15時までの列車を8本削減するというものです。また、神領車両区、大垣車両区での列車洗浄作業時に窓閉めと洗浄ボタン押しを運転士が行うことも説明されました。

組合からは、清掃の問題、BCP行路の問題、列車混雑の問題などを提起し以下のような議論を行いました

【主な議論】

組合: 令和6年での名古屋運輸区車掌+2は何によるものか。

会社: 大垣、名古屋、大府、豊橋において100件くらいの車内点検作業を増やしたためである。

組合: 飯田線の昼間時間帯での列車減は利用がなかったからか。

会社: そうである。

組合: 列車本数が減れば、ますますお客様のご利用の機会が減り旅客減となるのではないか。

会社: 空席が多かった。

組合: 中央線・飯田線での列車減でイベント開催等の多客に対応できるのか。

会社: イベント開催時は臨時列車を走らせる可能性もある。

組合: 車内清掃を直轄で行うことが増えているが、折り返し・入換等の時間僅少の中で行うことや、専門的な道具のない中で行うことにより汚物が落ちないこともあるようだ。時間・道具・道具の設置場所などもっと工夫が必要だ。

会社: 時間内に清掃して貰う。

組合:R5年のダイヤ改正で導入されたBCP行路は連続乗務、寝られない、明けが遅いことにより、非常に評判が悪い。R6年ではこの問題は解消されたのか。

会社:列車本数を減らしたことによりBCP列車を分散させたことにより負担減となっている。

組合:箱ダイヤを十分に検討させて貰う。中津川運輸区の総乗務キロが増えたのはBCP行路のためなのか。

会社:中津川運輸区にBCP行路はない。

組合:HC85系導入後、車両数も減となり、更に1両当たりの座席数も減っている。そのため特急料金を頂いても立って乗車される方が増加した。改善すべきだ。

会社:乗車動向はしっかり見ている。問題はない。

組合:HC85の増産はしないのか。

会社:適宜考える。

組合:座れなくて苦情を言われるのは現場で働く者だ。より良いサービスを提供し利用するお客様を増やすために、特急は余裕を持った座席数にする努力を続けるべきである。

会社:利用状況はしっかり見ていく。

地本は、これらの説明を受け以上のような議論を行ってきました。12月26日、要求をまとめ会社に提出し来年1月30日に再度ダイヤ改正について議論を進めます。

以 上